

## 第2章 毛呂山町の現状と課題



## 第2章 毛呂山町の現状と課題

### 第1節 人口等の動向

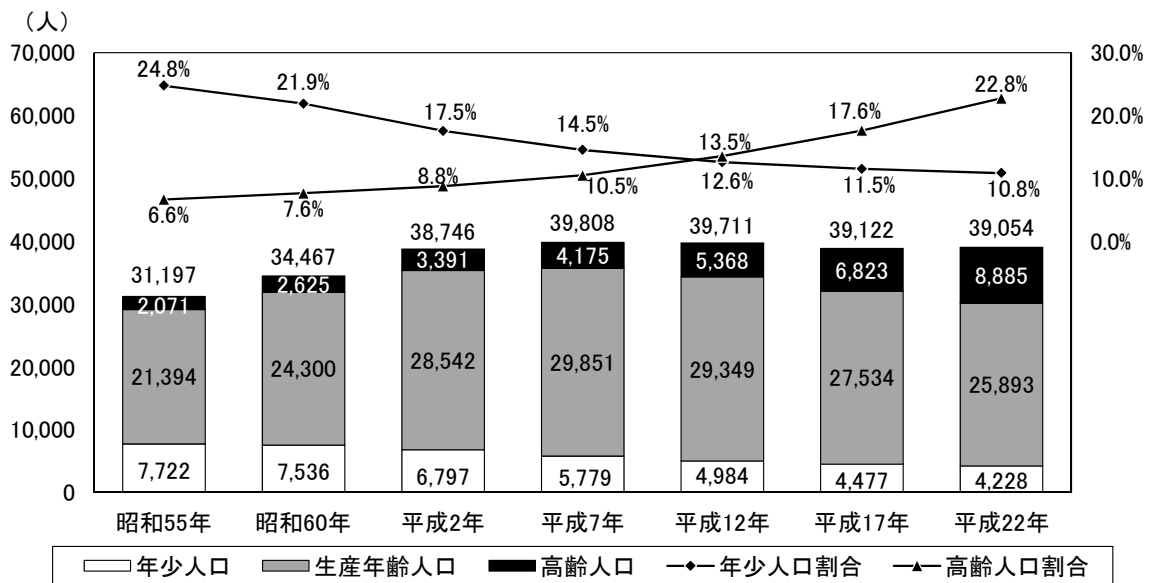
#### (1) 人口動態

##### ①人口等の推移

本町の人口推移をみると、平成7年までは増加傾向でしたが、以降は微減傾向となっています。

また、高齢人口割合（65歳以上）は上昇を続けており、平成22年には22.8%と、5人に1人以上が65歳以上となっています。

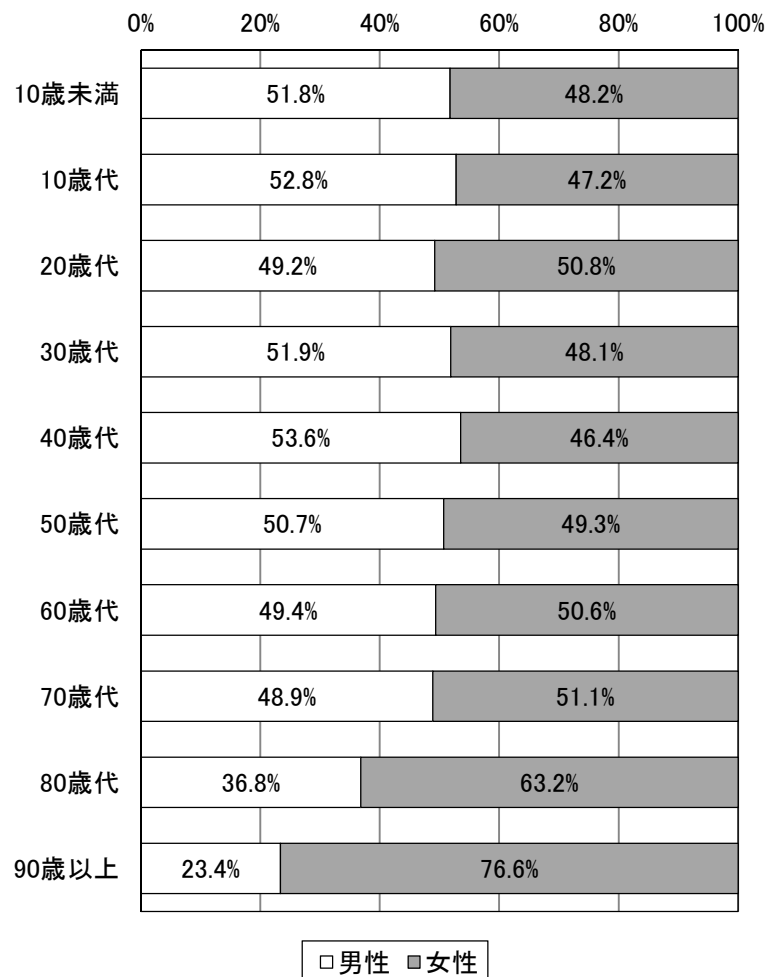
一方、年少人口割合（15歳未満）は昭和55年で24.8%だったものが、平成22年には10.8%と半減しています。



※資料：国勢調査

②世代別の男女構成比

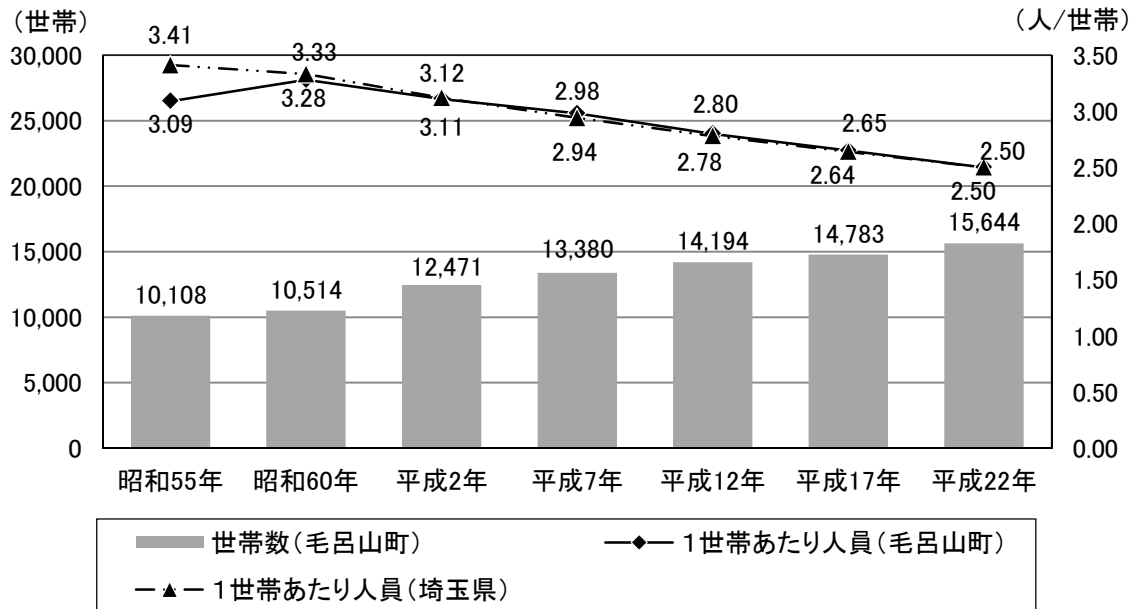
平成22年における世代別の男女構成比をみると、概ね50歳代までは男性の割合が高いものの、60歳代以上では女性の割合が男性の割合を上回っており、世代が高くなるにつれて女性の割合が高くなっています。



※資料：平成22年国勢調査

### ③世帯数及び1世帯あたり人員の推移

本町における一般世帯数は増加傾向にあります。1世帯あたり人員は県平均と同様に減少傾向にあり、平成22年時点で2.50人と、世帯の小規模化（単身世帯など）が進行しています。



※資料：国勢調査

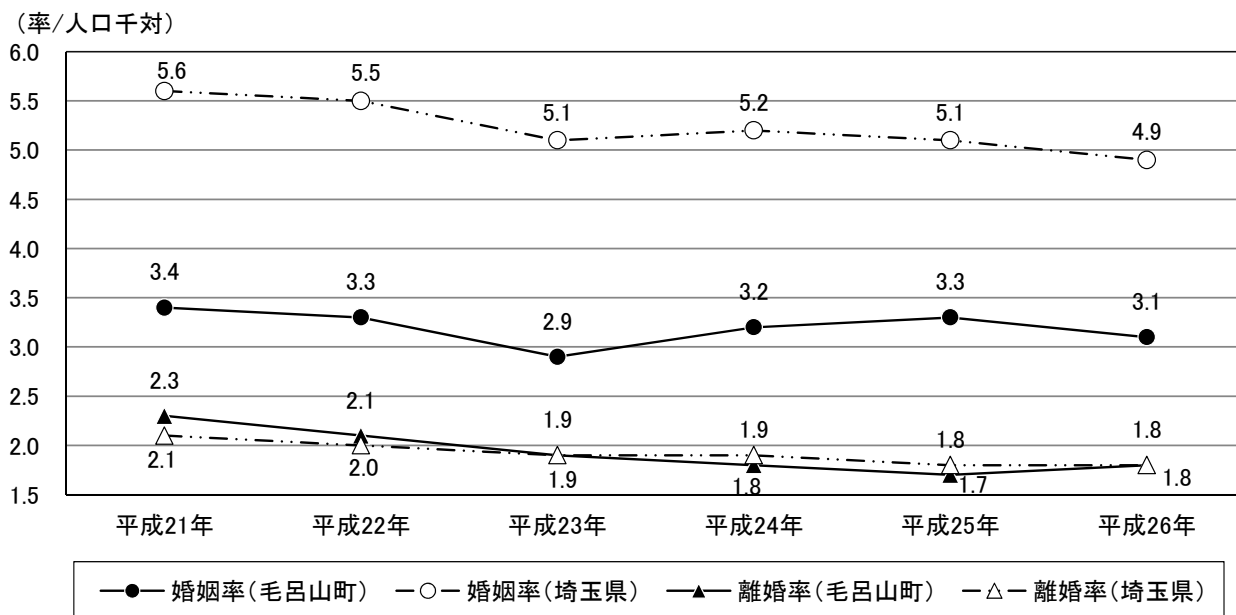


(2) 婚姻・離婚の状況

①婚姻・離婚率の推移の状況

本町の婚姻率（人口千人当たりの婚姻数）は県平均を下回って、平成26年では3.1となっており、県平均と1.8ポイントの開きがあります。

また、離婚率（人口千人当たりの離婚数）は概ね県平均と同様となっており、平成26年では1.8となっています。

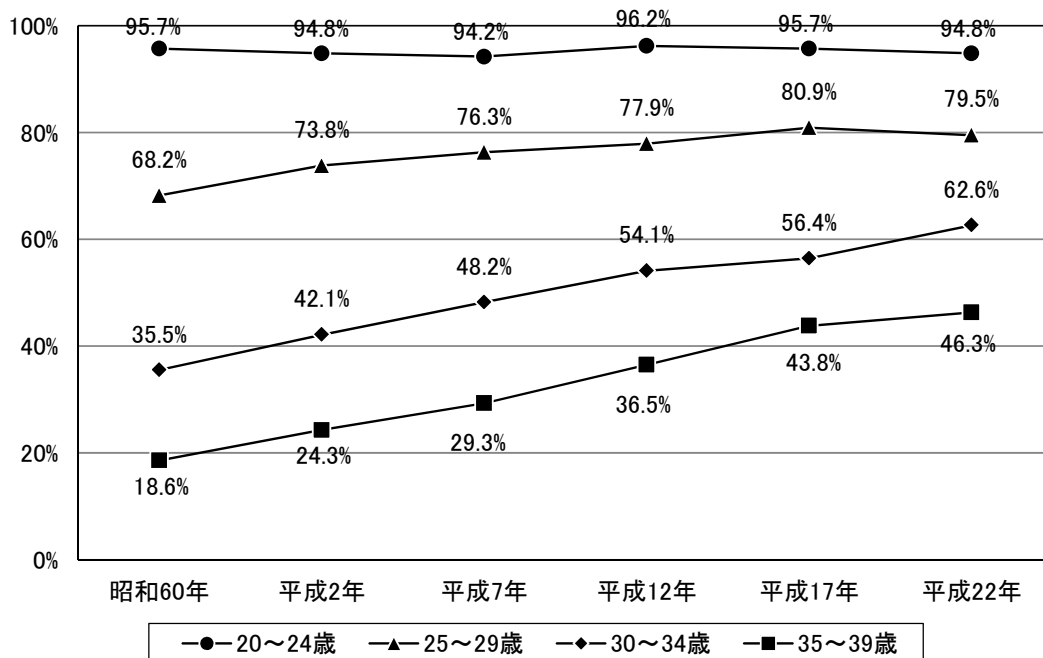


※資料：埼玉県人口動態概況

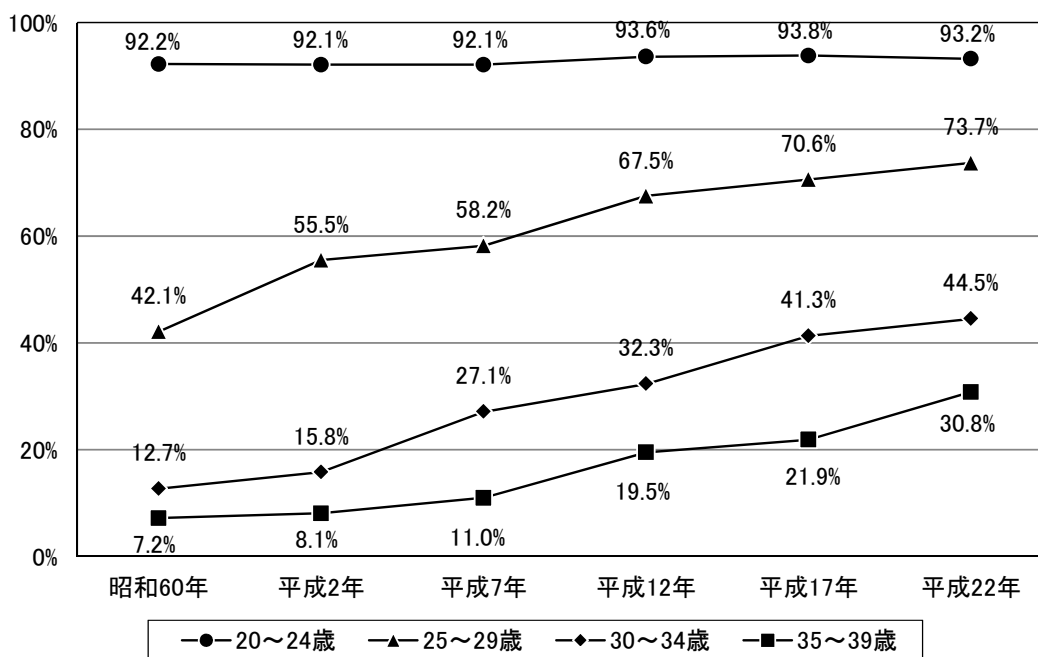
## ②未婚率の推移

本町の年齢別未婚率の推移をみると、25歳以上での上昇は依然として続いており、非婚化・晩婚化の進行がうかがえます。

### 【男性】



### 【女性】



※資料：国勢調査



(3) 就労状況等の推移

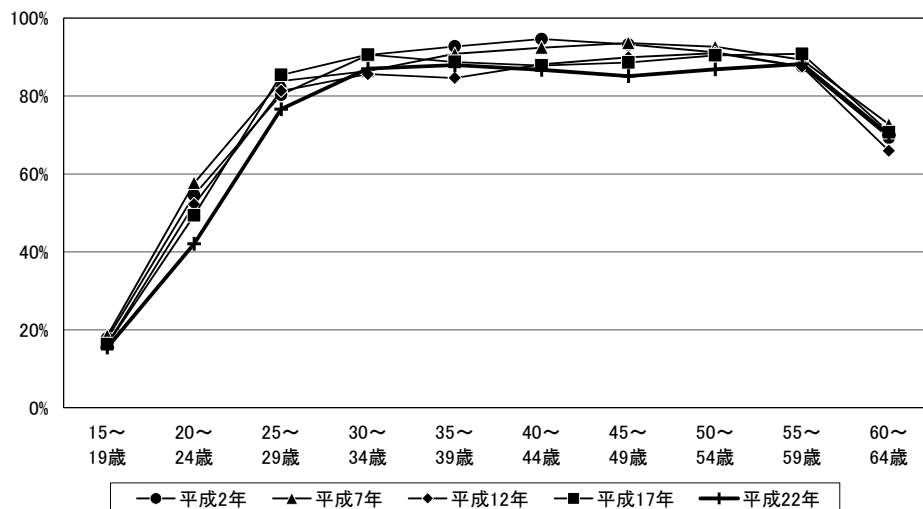
①男女別就労状況

男性の就業率は、社会経済の悪化に伴い年ごとに低下していますが、反対に女性では、特に25歳以上で就業率の上昇がみられ、働く女性の割合が増えたことを示しています。

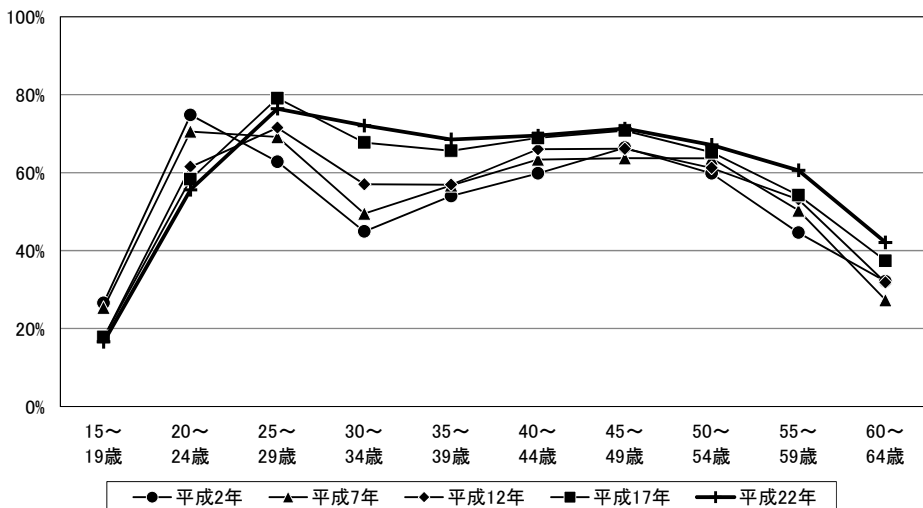
また、女性の就業率を年齢に沿ってみていくと、いわゆる「M字型曲線<sup>10</sup>」を示しており、30歳前後で結婚や出産のため離職する傾向があることが分かります。

しかし、平成17年、平成22年では30歳前後でのカーブが緩やかになっており、女性の就業率が高まっています。

【男性】



【女性】



※資料：国勢調査

10 M字型曲線

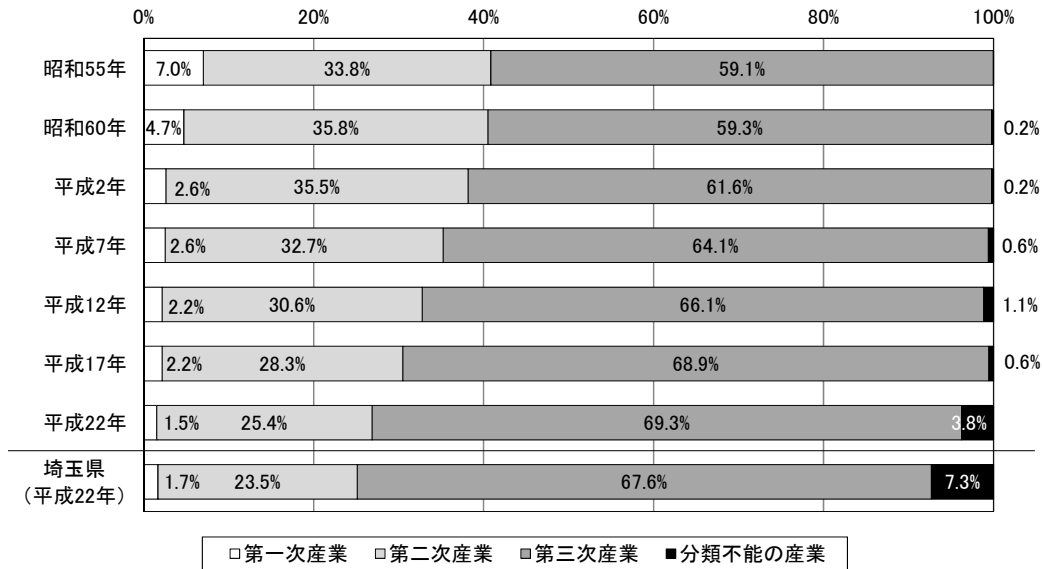
女性の年齢別就業率（労働力人口比率、労働力率）を折れ線グラフでみた場合、学卒後と子育て終了後とを2つの山とし、その間の子育て期が谷のようになって、ちょうどMの字のような形になっていることをいいます。



②産業別就労人口の推移

産業別就業者の割合の推移をみると、第一次産業及び第二次産業の減少と第三次産業の増加傾向がみられます。

平成22年度では、全就業者の約7割が第三次産業に従事しており、概ね県平均と同様の割合となっています。



※資料：国勢調査





③産業別女性の就労人口

平成22年の産業別（大分類）就業状況をみると、就業者全体では製造業に従事する人の割合が18.1%を占め最も多く、次いで医療・福祉（17.4%）、卸売業・小売業（14.4%）と続きます。

一方、女性の産業別就業状況をみると、業種ごとの就業者に占める女性の割合は「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」や「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「医療、福祉」で50%を超えており、特に「医療、福祉」分野では、75%以上が女性となっています。こうした業種では、女性労働力が重要なポイントを占めていることが分かります。

人口区分 産業区分		全就業人口		女性就業人口			
		人数 (人) (A)	全就業人口に占める割合 (%) (A/AC)	人数 (人) (B)	全就業人口に占める割合 (%) (B/AC)	女性就業人口に占める割合 (%) (B/BC)	業種別総数に占める割合 (%) (B/A)
総数 (C)		17,215	100.0%	7,650	44.4%	100.0%	44.4%
第一次	農業	262	1.5%	75	0.4%	1.0%	28.6%
	林業	2	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%
	漁業	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%
第二次	鉱業	3	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%
	建設業	1,254	7.3%	175	1.0%	2.3%	14.0%
	製造業	3,110	18.1%	958	5.6%	12.5%	30.8%
第三次	電気・ガス・熱供給・水道業	82	0.5%	12	0.1%	0.2%	14.6%
	情報通信業	223	1.3%	52	0.3%	0.7%	23.3%
	運輸業、郵便業	1,006	5.8%	166	1.0%	2.2%	16.5%
	卸売業、小売業	2,479	14.4%	1,297	7.5%	17.0%	52.3%
	金融業、保険業	252	1.5%	160	0.9%	2.1%	63.5%
	不動産業、物品賃貸業	241	1.4%	81	0.5%	1.1%	33.6%
	学術研究、専門・技術サービス業	294	1.7%	79	0.5%	1.0%	26.9%
	宿泊業、飲食サービス業	1,023	5.9%	637	3.7%	8.3%	62.3%
	生活関連サービス業、娯楽業	906	5.3%	536	3.1%	7.0%	59.2%
	教育、学習支援業	778	4.5%	379	2.2%	5.0%	48.7%
	医療、福祉	2,997	17.4%	2,268	13.2%	29.6%	75.7%
	複合サービス事業	64	0.4%	26	0.2%	0.3%	40.6%
	サービス業（その他）	1,032	6.0%	336	2.0%	4.4%	32.6%
	公務	560	3.3%	125	0.7%	1.6%	22.3%
その他	647	3.8%	288	1.7%	3.8%	44.5%	

※資料：平成22年国勢調査

※網掛けの業種は、業種別の総数に占める女性の割合が50%以上の業種

## 第2節 住民意識調査及び中学生意識調査

### 1 調査結果概要

#### (1) 調査の目的

平成27年度に「第三次もろやま男女共同参画プラン」を策定するにあたり、町民の男女共同参画に関する意識の把握及び町が取り組むべき施策の基礎資料とするため、住民意識調査及び中学生意識調査を実施しました。

#### (2) 調査実施期間

住民意識調査：平成27年5月29日（金）～平成27年6月15日（月）

中学生意識調査：平成27年6月1日（月）～平成27年6月15日（月）

#### (3) 調査実施対象者

住民意識調査：町内在住の20歳以上の方を無作為抽出。合計2,000名

中学生意識調査：町立中学校1年生全員

#### (4) 調査票の配布・回収方法

住民意識調査：返信用封筒を同封して発送・郵送回収

中学生意識調査：学校経由で配布・回収

#### (5) 調査票の回答数及び有効回答率

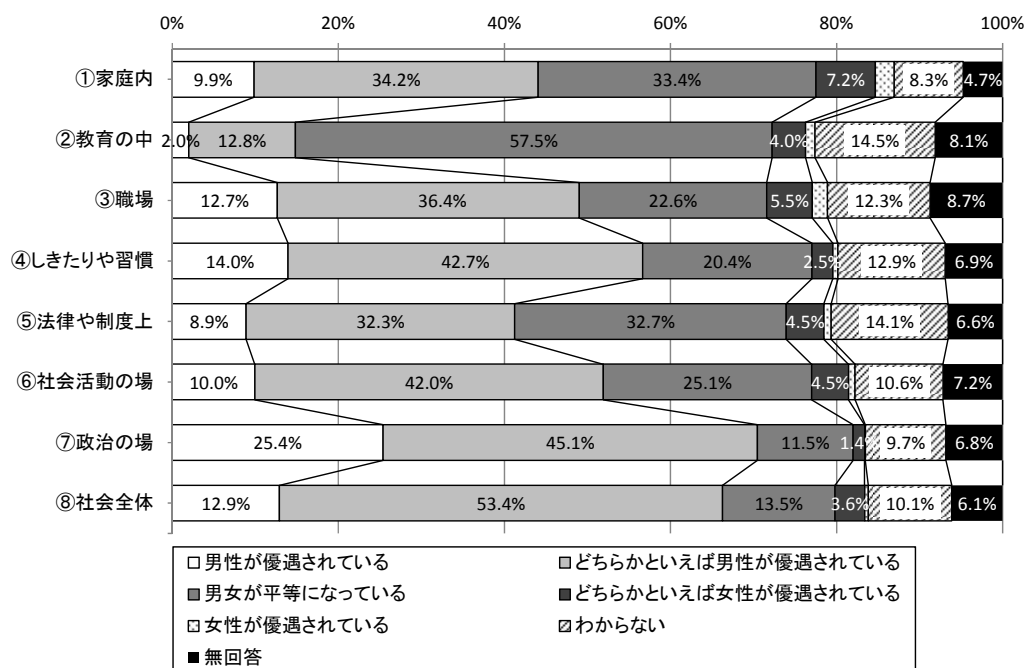
対象	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
住民	2,000	1,146	57.3%	1,144	57.2%
中学生	286	286	100.0%	283	99.0%

## 2 調査結果抜粋（20歳以上）

### 【1 男女平等意識について】

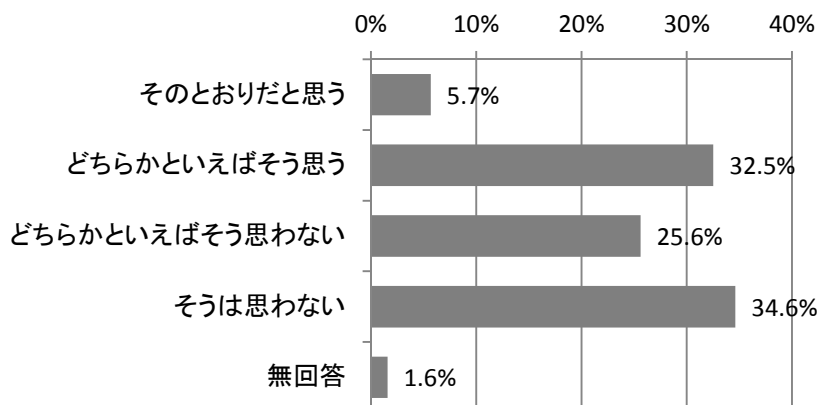
問 あなたは、次の分野で男女の地位はどうなっていると思いますか。

「男性が優遇されている」の項目では、「政治の場」が25.4%と最も多く、「男女が平等になっている」の項目では、「教育の中」が57.5%となっています。「女性が優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせてもすべての項目で1割弱となっています。



問 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方を、どのように思いますか。

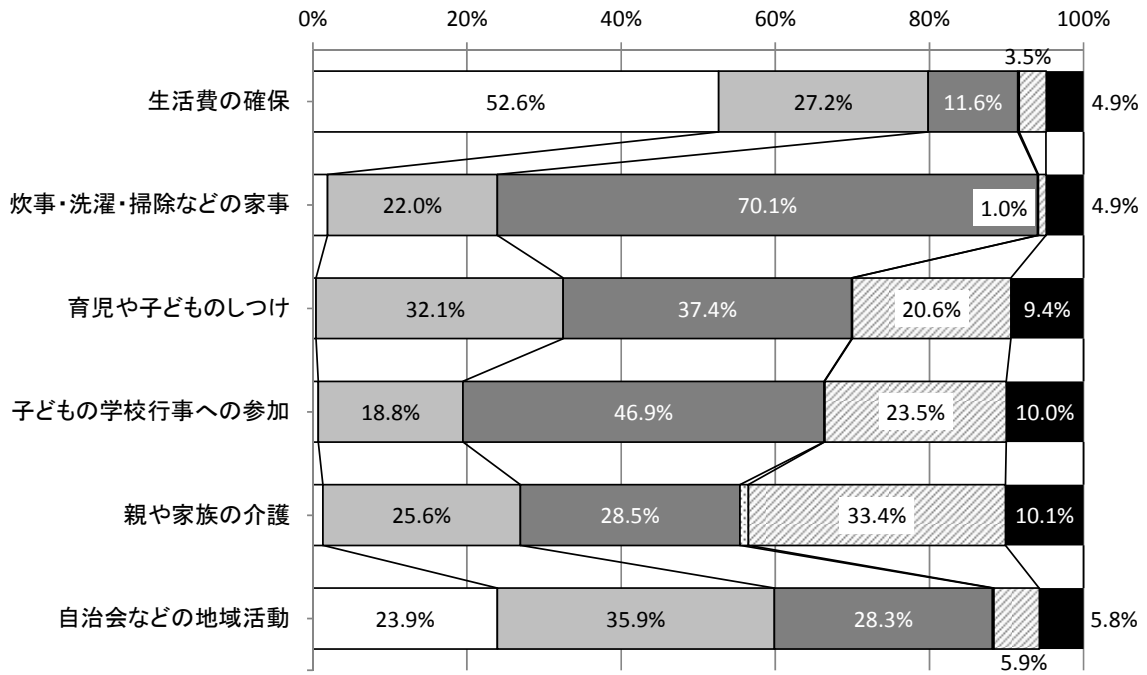
「そうは思わない」が34.6%と最も多く、「どちらかといえばそう思わない」と合わせると6割以上となっています。一方、「そのとおりだと思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると38.2%となっています。



【2 家庭生活について】

問 現在、あなたの家庭では次のことを主にどなたが行っていますか。

「主として女性」の項目では、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が70.1%と最も多くなっています。「主として男性」の項目では、「生活費の確保」が52.6%と最も多く、「共同して分担」の項目では、「自治会などの地域活動」35.9%が最も多くなっています。

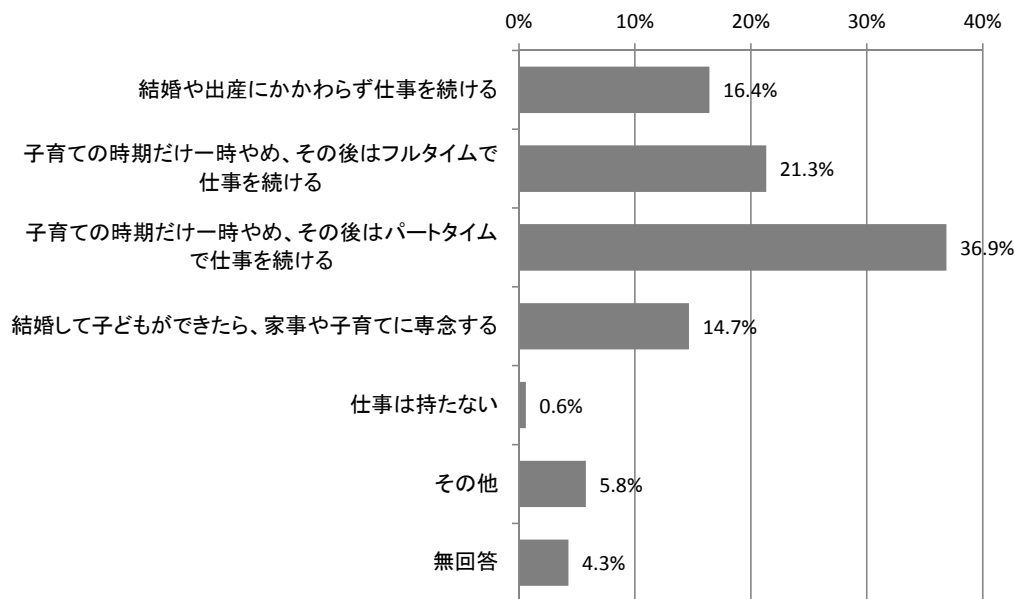


□主として男性 □共同して分担 ■主として女性 □家族以外の人に依頼 □あてはまらない ■無回答

【3 就業について】

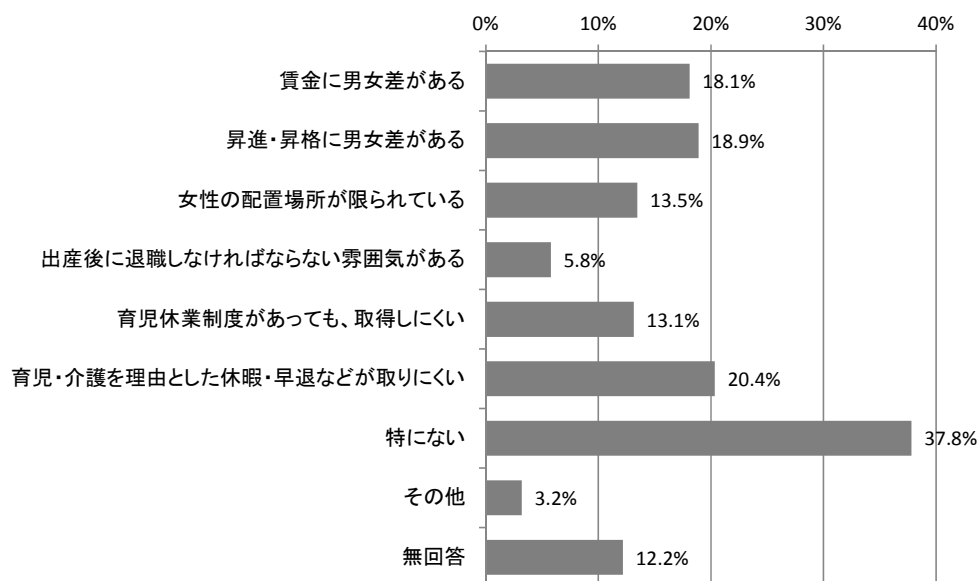
問 あなたは、女性の働きかたについて、理想はどうあるべきだと思いますか。

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が36.9%と最も多く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」21.3%、「結婚や出産にかかわらず仕事を続ける」16.4%、「結婚して子どもができれば、家事や子育てに専念する」14.7%となっています。



問 あなたは、職場で、仕事の内容や待遇において次のようなことがありますか。

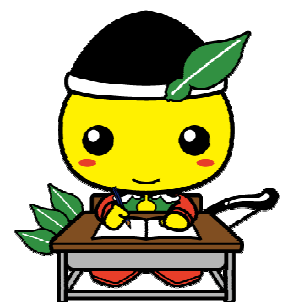
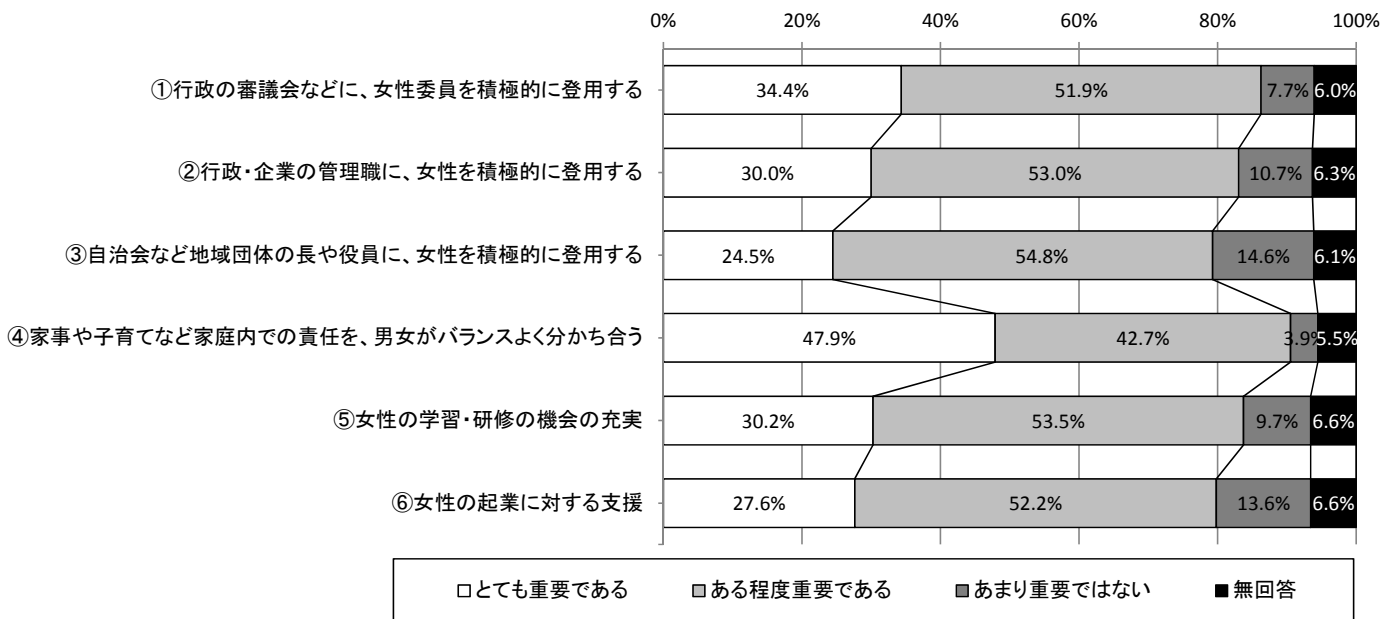
「育児・介護を理由とした休暇・早退などが取りにくい」が20.4%と最も多く、次いで「昇進・昇格に男女差がある」18.9%、「賃金に男女差がある」18.1%となっています。一方「特にない」が約4割となっています。



【4 社会参加について】

問 あなたは、方針・政策決定の場に女性の参画をさらに促進するために、次のことはどの程度重要だと思いますか。

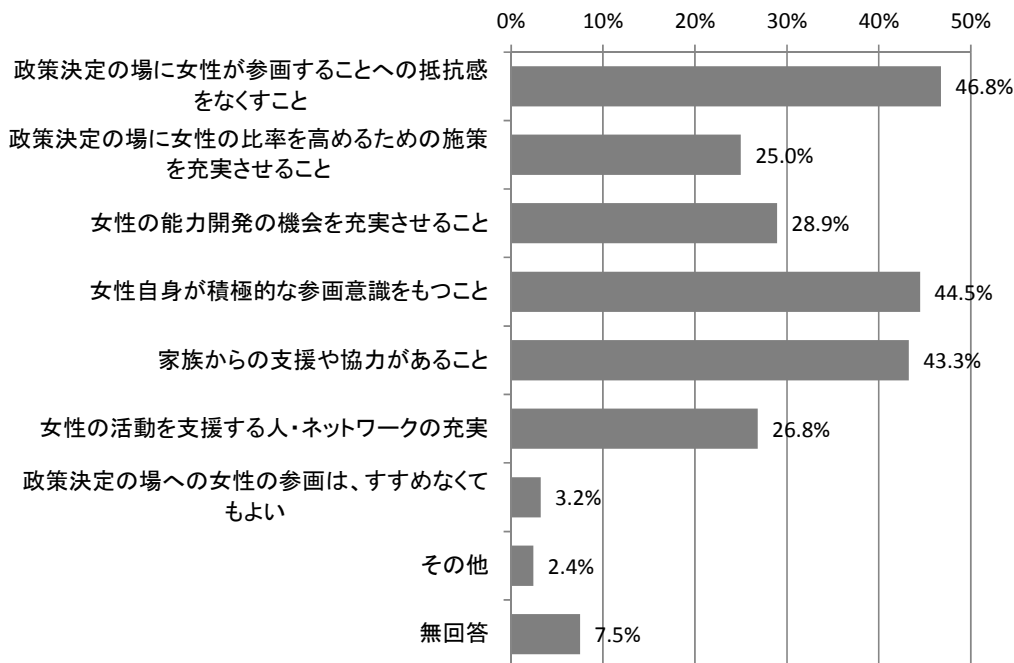
「とても重要である」の項目では、「家事や子育てなど家庭内での責任を、男女がバランスよく分かち合う」が47.9%と最も多く、すべての項目において「とても重要である」、「ある程度重要である」と合わせると8割以上となっています。一方「あまり重要でない」では、「自治会など地域団体の長や役員に、女性を積極的に登用する」の14.6%が最も多くなっています。





問 あなたは、審議会<sup>11</sup>等の委員など政策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「政策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと」が46.8%と最も多く、次いで「女性自身が積極的な参画意識をもつこと」44.5%、「家族からの支援や協力があること」43.3%となっています。



11 審議会

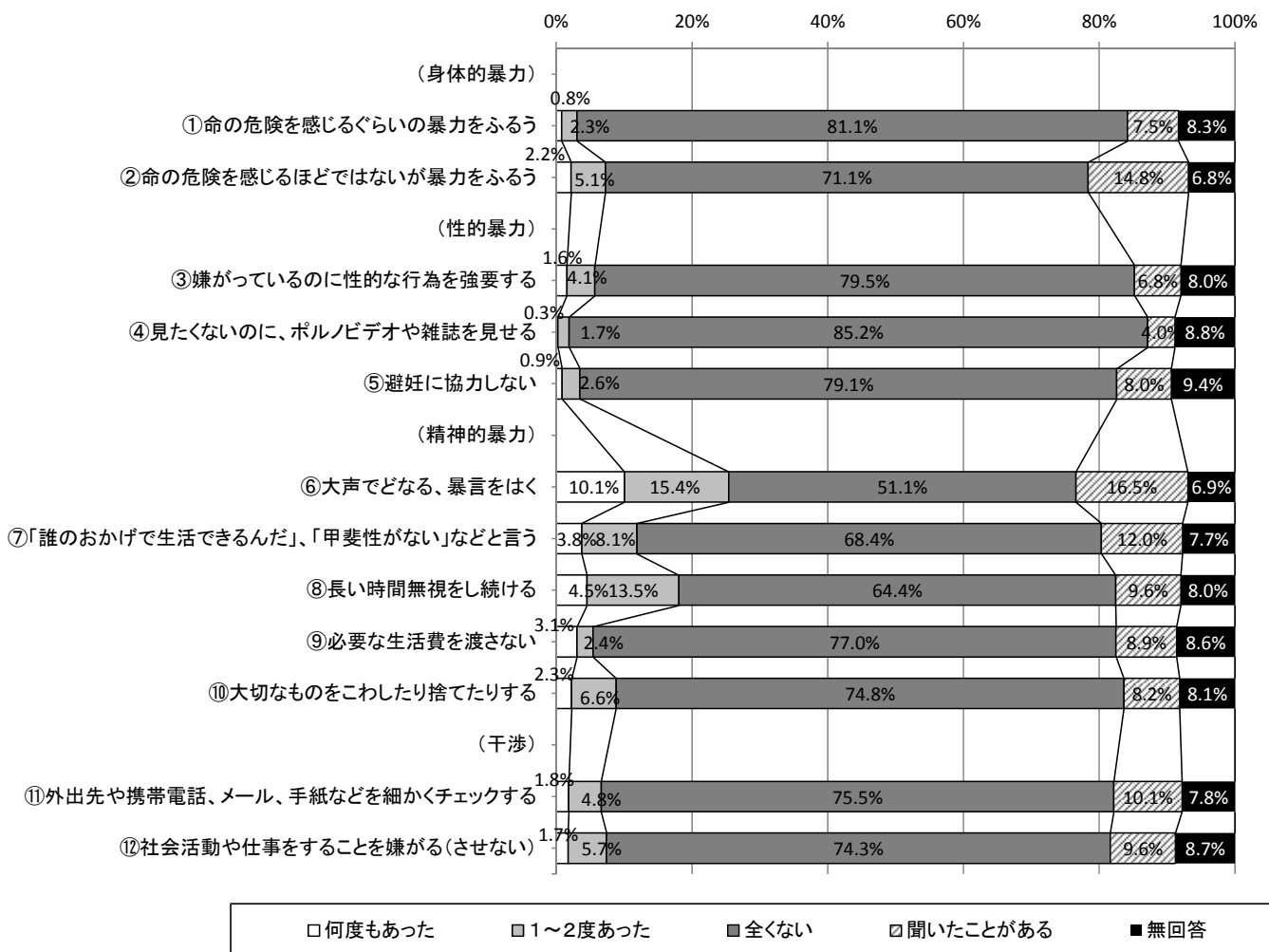
国や地方公共団体が、政策や計画等を策定する際に意見などを求める委員会等のことです。



【5 配偶者などに対する暴力について】

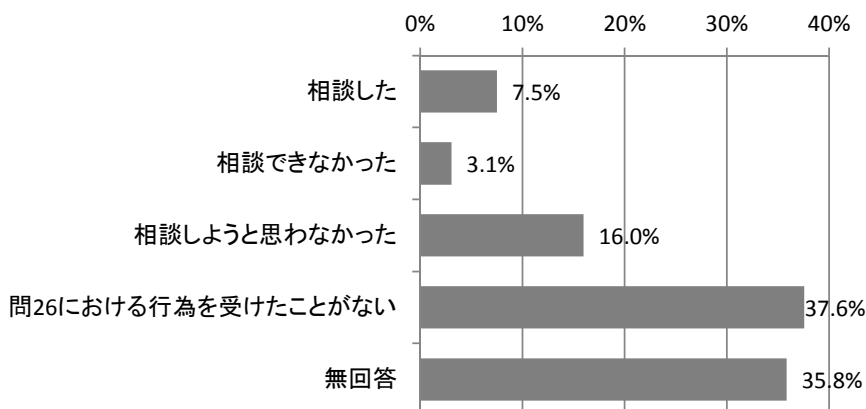
問 あなたは、恋人、配偶者、パートナーから次のような行為をされたことがありますか。また、あなたの周りで聞いたことがありますか。

全体では、「全くない」がすべての項目も5割～9割となっていますが、「何度もあった」の項目では「大声でどなる、暴言をはく」が10.1%と最も多く、「1～2度あった」では「大声でどなる、暴言をはく」15.4%、「長い時間無視をし続ける」13.5%と多くなっています。



問 前問における行為を受けたとき、あなたは、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。

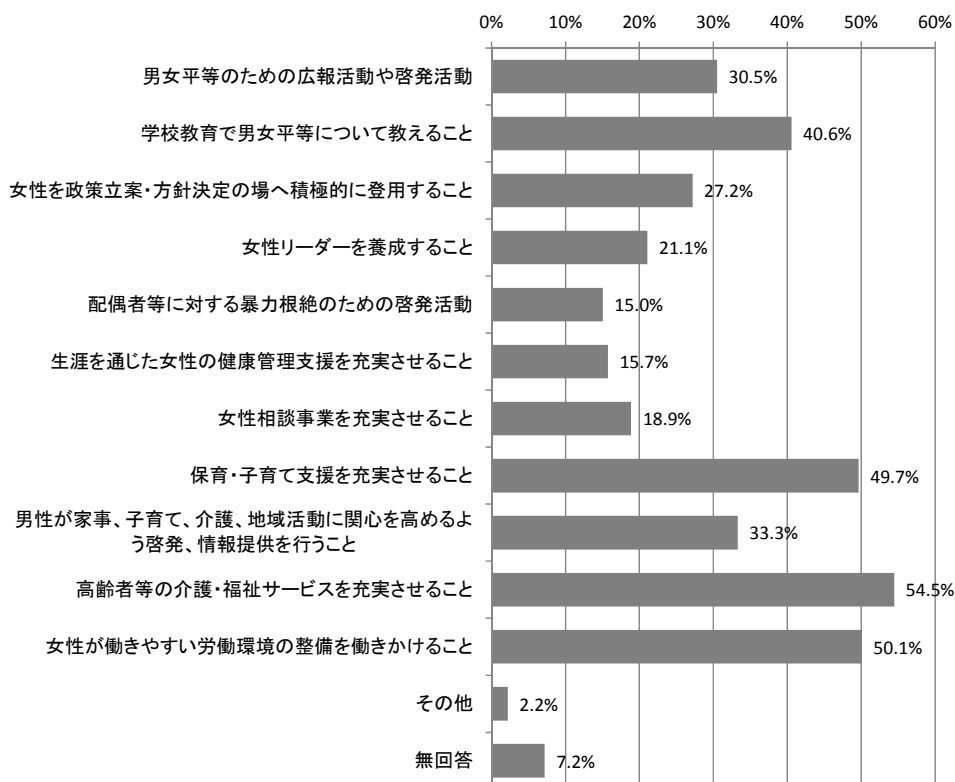
「問26における行為を受けたことがない」が37.6%と最も多く、次いで「相談しようと思わなかった」16.0%、「相談した」7.5%となっています。



### 【6 町の男女共同参画の推進に対する施策について】

問 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、今後、町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

今後、町で力を入れていくべきことでは、「高齢者等の介護・福祉サービスを充実させること」が54.5%と最も多く、次いで「女性が働きやすい労働環境の整備を働きかけること」50.1%、「保育・子育て支援を充実させること」49.7%となっています。

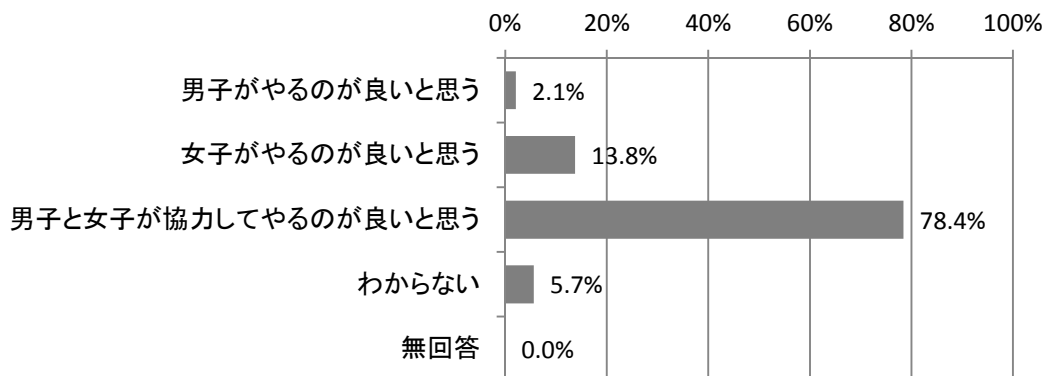


### 3 調査結果抜粋（中学生調査）

問 次のことについてどう思いますか。（〇はそれぞれ1つ）

#### ①教室のそうじや整理整頓は、

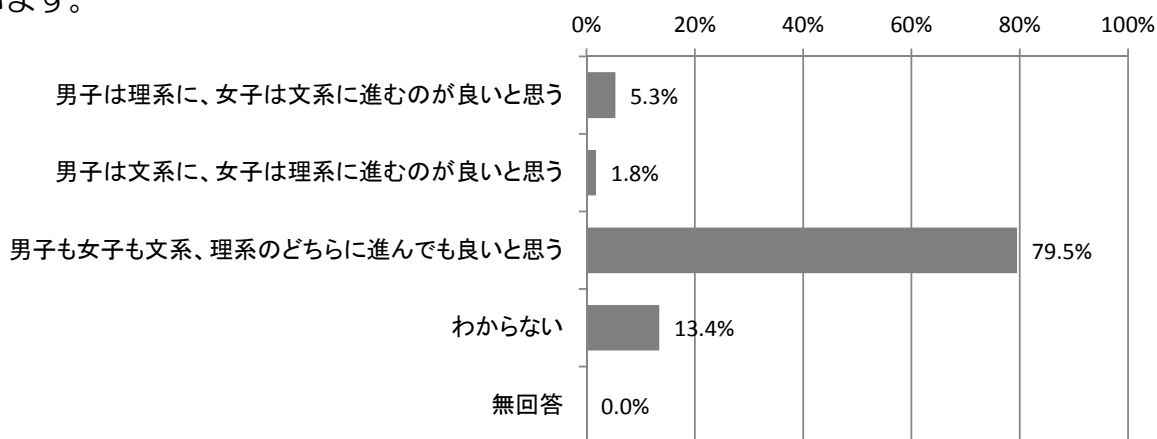
「男子と女子が協力してやるのが良いと思う」が78.4%と約8割となっています。



項目	人数	%
男子がやるのが良いと思う	6	2.1%
女子がやるのが良いと思う	39	13.8%
男子と女子が協力してやるのが良いと思う	222	78.4%
わからない	16	5.7%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

#### ②進路を決めるとき、

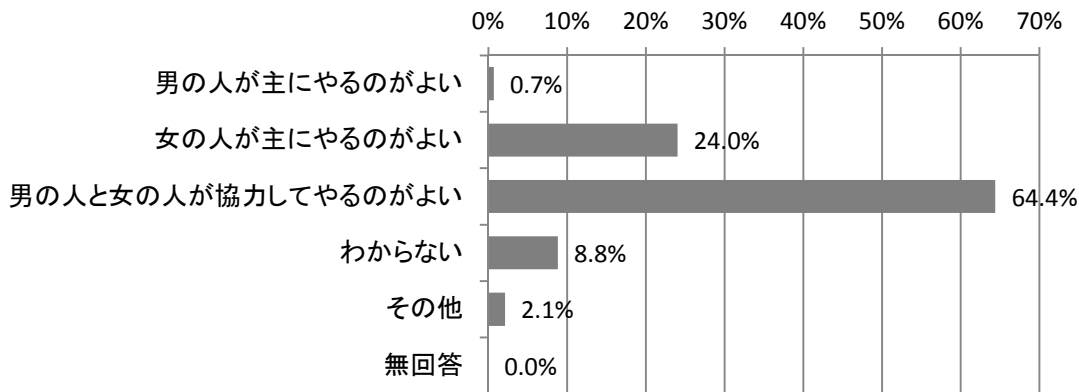
「男子も女子も文系、理系のどちらに進んでも良いと思う」が79.5%と約8割となっています。



項目	人数	%
男子は理系に、女子は文系に進むのが良いと思う	15	5.3%
男子は文系に、女子は理系に進むのが良いと思う	5	1.8%
男子も女子も文系、理系のどちらに進んでも良いと思う	225	79.5%
わからない	38	13.4%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

問 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、だれがやるのがよいと思いますか。(〇は1つ)

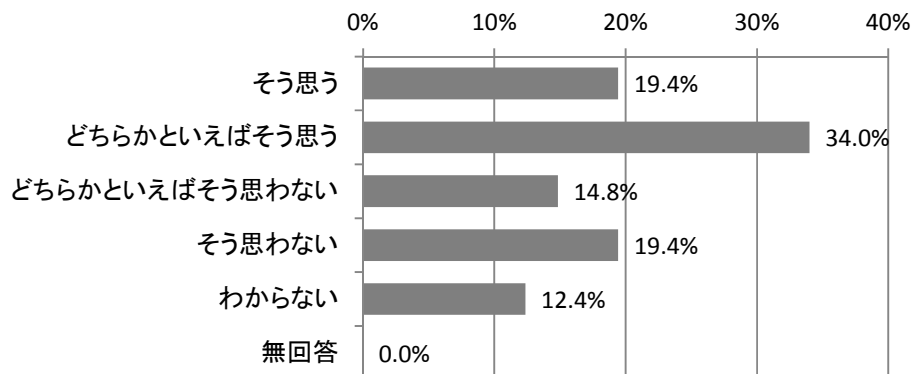
「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が64.4%と最も多く、次いで「女の人が主にやるのがよい」24.0%となっています。



項目	人数	%
男の人が主にやるのがよい	2	0.7%
女の人が主にやるのがよい	68	24.0%
男の人と女の人が協力してやるのがよい	182	64.4%
わからない	25	8.8%
その他	6	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

問 「男は仕事、女は家庭」という考えかたがありますが、この考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると53.4%と5割を越えています。一方「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合わせると34.2%となっています。

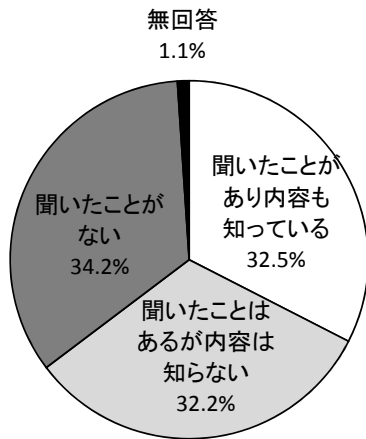


項目	人数	%
そう思う	55	19.4%
どちらかといえばそう思う	96	34.0%
どちらかといえばそう思わない	42	14.8%
そう思わない	55	19.4%
わからない	35	12.4%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

問 あなたは次の言葉を聞いたことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

①DV (ドメスティック・バイオレンス)

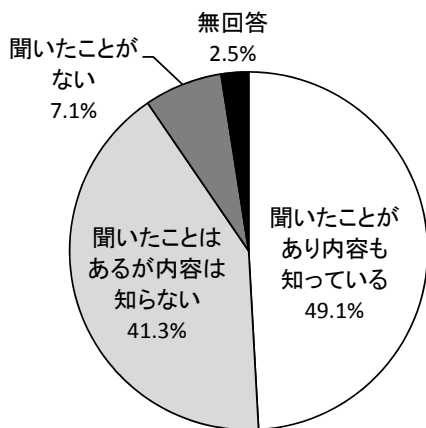
「聞いたことがない」が34.2%と最も多く、次いで「聞いたことがあり内容も知っている」32.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」32.2%となっています。



項目	人数	%
聞いたことがあり内容も知っている	92	32.5%
聞いたことはあるが内容は知らない	91	32.2%
聞いたことがない	97	34.2%
無回答	3	1.1%
合計	283	100.0%

②セクシャルハラスメント<sup>12</sup>

「聞いたことがあり内容も知っている」が49.1%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」の41.3%となっています。



項目	人数	%
聞いたことがあり内容も知っている	139	49.1%
聞いたことはあるが内容は知らない	117	41.3%
聞いたことがない	20	7.1%
無回答	7	2.5%
合計	283	100.0%

12 セクシャルハラスメント

性的いやがらせのことで、職場においては、「相手の意に反した性的な言動を行い、それに対する対応によって、仕事をする上で一定の不利益を与えたり、又はそれを繰り返すことによって就労環境を著しく悪化させること」と考えられています。

